スラーヤが世界初デュアルモード・デュアル SIM 携帯電話で新基準を設定

ドバイ（アラブ首長国連邦）、2016 年 11 月 15 日／PR ニュースワイヤー／--

フレキシビリティと選択：スラーヤ *XT-PRO DUAL* がカスタマイズ可能なコンバージェンスを提供

世界大手の移動衛星通信システム（MSS）事業者、スラーヤ・テレコミュニケーションズが本日発売した世界初のデュアルモード・デュアル SIM 携帯電話は、衛星電話の機能をさらに進化させました。

マルチメディア・ニュースリリースは下記をクリックして下さい。

http://www.multivu.com/players/uk/7976651-thuraya-xt-pro-launch-dual-mode-sim-phone/

スラーヤ XT-PRO DUAL によって、衛星通信と地上通信間の差がなくなり、ユーザーは地上通信網のカバレッジ内外をシームレスに移動してどのような場所でも接続できるようになります。衛星通信専用 SIM スロットと GSM 通信用の 2 つ目のスロットを搭載したスラーヤの画期的な最新携帯電話は、ユーザビリティと選択の自由に変化をもたらします。ユーザーは、スラーヤ SIM カードと自身の GSM カードを選択、あるいはニーズに合った SIM カードの組み合わせを選択することができます。

多様性もまた前例のないレベルに高められています。この新型携帯電話の「常時接続」機能により、ユーザーは難なく通話を交互に切り替え、常に衛星と地

上通信網両方に接続することができます。衛星電話が通話中でも GSM 携帯電話番号は電話を受けることができ、その反対も同様です。

スラーヤの最高コマーシャル責任者（CCO）の Bilal Hamoui 氏は次のように述べています。「XT-PRO DUAL は、カバレッジの点で大きな進歩を遂げています。これは、世界最高の衛星携帯電話です。このデュアル SIM・デュアルモード機能は、これまでにないフレキシビリティをもたらし、エンドユーザーに新しいレベルの価値を生み出しています。市場の需要に動かされ、再びスラーヤは衛星通信機能を劇的に一歩前進させたのです。」

スラーヤの優れたネットワークは、衛星により地球の 3 分の 2 で、そして独自の GSM ローミング機能により地球全体で、クリアな通信と途切れのないカバレッジを実現し、既に 389 件の契約が成立しています。

スラーヤは、市場に新しいチャネルを追加し既存のパートナーシップを拡大し続けています。Hamoui 氏は、「世界中の移動体通信事業者（MNO）は、移動の最中でも常に接続できる利点に重点を置き、顧客に今までに類を見ないサービスを提供することができます」と述べています。

スラーヤ XT-PRO DUAL は、陸上・海上両方における政府調査団や石油・ガス精製・探査会社のような地上通信網のカバレッジ内外を頻繁に移動するユーザー向けに設計されています。この世界最先端の衛星携帯電話は、VIP や消費者だけでなく、NGO、中小企業、大手企業にとっても魅力的でしょう。

スラーヤの総合的な衛星ネットワークは、欧州、アフリカ、アジア、オーストラリアの 160 か国以上で、信頼できるクリアな途切れることのない通信を提供しています。また、GSM モードでは、スラーヤ XT-PRO DUAL は、世界中の 2G／3G 周波数帯の大部分に対応しています。

スラーヤ XT-PRO DUAL の北斗、Glonass、ガリレオによる高度なナビゲーション機能においてもフレキシビリティは引き続き重視されています。スラーヤ XT-PRO DUAL のユーザーは、現在の座標を共有し、ウェイポイントを入力して電子コンパスを用いて特定位置をナビゲートし、位置ログも利用できます。

まず別の業界において、この携帯電話の高度な追跡機能は、プリセット時間間隔、走行距離、プレセットしたジオフェンス外での移動検知に基づいて、3 つの異なるオプションを提供しています。ジオフェンシングのプロセス自体はシンプルで、ユーザーが選んだ 3 ～ 7 の座標を使用します。安全なフル制御のために、全ての追跡機能はユーザーがアクティベートするようになっており、歓迎されない外部の主体による初期化や制御は不可能です。

スラーヤ XT-PRO DUAL のバッテリーは、最長 11 時間の通話、100 時間の待ち受け時間を可能にしています。SOS 非常ボタンによって性能と信頼性がさらに向上しています。この携帯電話は、防水・防塵・耐衝撃性を備えたボディや反射防止ゴリラガラスのディスプレイなどの優れた特徴もあります。

Hamoui 氏は、「衛星携帯電話技術はかなり良くなりました。このようなフレキシビリティ、便利さ、そして価値は、エンドユーザーが初めて体験するものです。」と語っています。

(写真: http://photos.prnewswire.com/prnh/20161108/437110)

ソース：スラーヤ・テレコミュニケーション・カンパニー

TBC